

令和4年度進行管理・評価シート
彦根市歴史的風致維持向上計画（第2期）（平成30年3月26日認定）
（最終変更 令和3年4月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
(1) 歴史的建造物等の保存と活用に関する事業		
1 1-1 特別史跡彦根城跡保存整備事業	3
2 1-6 歴史的風致形成建造物保存整備事業(魚屋町長屋)	4
(2) 歴史的建造物等を取り巻く周辺環境に関する事業		
3 2-1 旧城下町地区周遊環境整備事業	5
4 2-2 旧城下町地区周遊環境構築事業	6
5 2-3 無電柱化等道路修景事業	7
6 2-4 歴史的地域環境保全再生事業	8
(3) 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承に関する事業		
7 3-1 伝統工芸継承支援事業	9
8 3-2 伝統芸能継承事業	10
9 3-3 伝統技術者育成支援事業	11
10 3-4 歴史まちづくり活動支援事業	12
11 3-5 伝統的行催事開催事業	13
(4) 歴史的風致の普及・啓発と情報発信に関する事業		
12 4-1 博物館展示・文化財等郷土資料公開事業	14
13 4-2 歴史的風致情報発信事業	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理	16
2 文化財の防災	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 彦根市の観光客入込数について	19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 20

評価軸①-1

組織体制

	評価対象年度	令和4年度
	項目	現在の状況
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史まちづくり部局が中心となって、彦根市歴史まちづくり庁内推進会議により関係する所属との連携を図る。さらに、彦根市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進、変更ならびに事業の円滑な進行に係る連絡調整を行う。

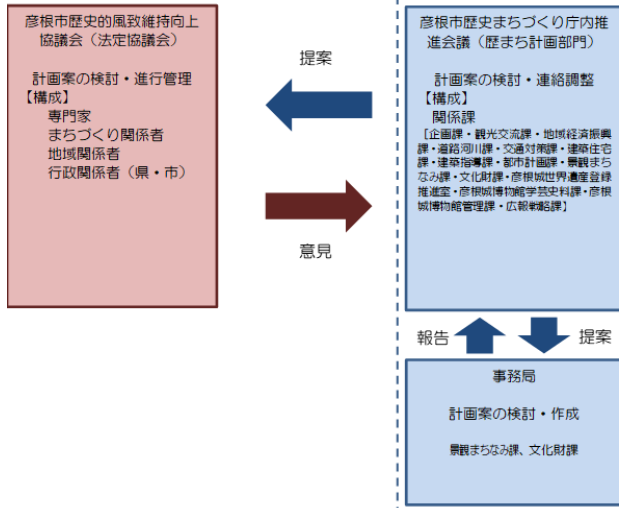
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

彦根市歴史まちづくり庁内推進会議を1回開催した。今年度も前年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和4年6月29日にweb会議で開催し、第2期計画の事業内容の共有および連絡調整を行った。また、彦根市歴史的風致維持向上協議会を令和4年12月22日に開催し、同計画(第2期)の中間評価について意見を求めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【実施体制】



彦根市歴史まちづくり庁内推進会議

第1回
 開催日: 令和4年6月29日(水) ※web会議
 主な議題:
 ・彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)の軽微な変更について
 ・同計画に関する各課の事業について(中間評価、進捗評価)



令和4年6月29日(水)撮影

彦根市歴史的風致維持向上協議会

第1回
 開催日: 令和4年12月22日(木)
 主な議題:
 ・彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)の中間評価について



令和4年12月22日(木)撮影

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
都市計画との連携			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	重点地区は、全域が市街化区域であり、本市の中心市街地であるが、人口減少も進み空き家、空き地が増加し、歴史的な環境を活かした取り組みが必要となってきた。このため、都市計画との適切な連携により、地区計画など歴史的風致の維持向上に即したまちづくり計画の策定を地域住民とともに取り組み、本市の歴史的風致の維持向上に努めるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
芹橋二丁目地区では、「文化遺産を活かしたまちづくり研究会」が今年度2回開催され、足軽組屋敷が残る芹橋二丁目らしいまち並みデザインガイドづくりが進められた。また、同地区の防災広場に係る整備推進に向け、地元関係者と協議を進めた。 本市の今後の空き家対策の推進を図るため、彦根市空家等対策推進協議会が今年度4回開催され、彦根市空家等対策計画の改定を行った。 また、歴史環境を保全することで都市の魅力の向上を図るため、令和4年7月に特別用途地区として「彦根城周辺歴史環境保全地区」を決定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

文化遺産を活かしたまちづくり研究会

開催日: 令和4年12月10日(土)
 開催内容: レクチャー「まちの成り立ちの歴史や伝統的な建物の特徴を学ぶ」



芹橋二丁目

令和4年12月10日(土)撮影

第1回彦根市空家等対策推進協議会

開催日: 令和4年8月10日(水)
 主な議題: 彦根市空家等対策計画の改定について



令和4年8月10日(水)撮影

芹橋二丁目防災広場整備イメージ



彦根市空家等対策計画



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
	項目	現在の状況
1-1 特別史跡彦根城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度(2005年度)～令和9年度(2027年)

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業、市単独事業

計画に記載している内容
 特別史跡彦根城跡の適切な修理や整備、活用を進めるため、平成27年度に策定した特別史跡彦根城跡保存活用計画に基づき、平成4年に策定した特別史跡彦根城跡整備基本計画の見直しを行う。
 また、特別史跡内の石垣の保存修理を含めた史跡整備を実施し、文化財の適切な保存を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度から令和4年度にかけて、国宝・重要文化財建造物保存活用計画検討委員会において、各建造物に係る防災・耐震・活用の側面から国宝・重要文化財(建造物)天守ほか6棟の保存活用計画を審議し、令和5年2月に文化庁から認定を受けた。
 また、本計画に関連して火災避難時での煙流動シミュレーションを検証するため、天守において階段歩行実験を実施した。
 先に原案を作成した特別史跡彦根城跡整備基本計画について、新たに策定した上記保存活用計画に係る防災設備の改修や天守前御殿跡礎石等の保護などを反映し、計画を見直すこととなり、県と協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

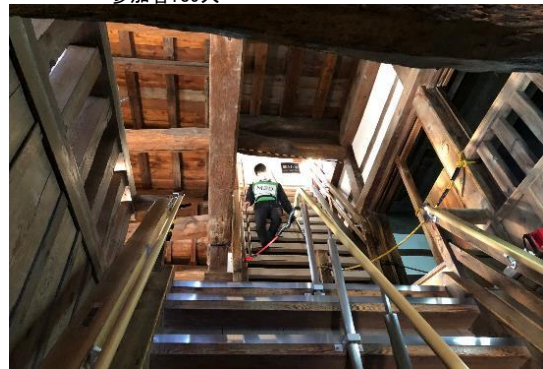
状況を示す写真や資料等

特別史跡彦根城跡の整備イメージ



天守階段歩行実験

開催日: 令和4年12月20日(火)
 参加者: 39人



金亀町
 令和4年12月20日(火)撮影

国宝・重要文化財建造物保存活用計画検討委員会

開催日: 令和4年4月26日(火)
 主な議題: 保存活用計画の審議(第2章 保存管理計画、第4章 防災計画)



令和4年4月26日(火)撮影

国宝・重要文化財建造物保存活用計画検討委員会 耐震専門部会

開催日: 令和5年2月27日(月)
 主な議題: 耐震対策補強案(現行補強案の改良案等)について



令和5年2月27日(月)撮影

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
	項目	現在の状況
1-6 歴史的風致形成建造物保存整備事業(魚屋町長屋)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度(2012年度)～令和9年度(2027年度)

支援事業名 街なみ環境整備事業、市単独事業

計画に記載している内容 旧城下町の下魚屋町に位置し、魚屋町の町家が歴史的なまちなみを形成する中で最大規模の歴史的建造物であるため、歴史的風致形成建造物に指定するとともに、老朽化が進んでいることから、建物調査・公有化を行い、歴史的建造物としての保存修理と活用を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公有化を終えた魚屋町長屋の保存整備に向けて、検討を行った。また、同建造物は、令和3年から令和4年の年末年始にかけての大雪による雪害が起きたことから、応急の修繕工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 保存活用に向けての修理には、相当の費用が必要となることから、今後の利活用方法を明確化し、保存修理計画を見直す必要がある。

状況を示す写真や資料等

魚屋町長屋

修繕工事施工中



城町一丁目
令和5年2月25日(土)撮影

修繕工事完了



城町一丁目
令和5年3月8日(水)撮影

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況
2-1 旧城下町地区周遊環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度(2012年度)～令和6年度(2024年度)

支援事業名 都市再生整備計画事業、市単独事業

計画に記載している内容 旧城下町地区特有の町割りが残る通りを、徒歩または自転車によって移動しやすくする環境の整備推進ならびに代表的な歴史的建造物などを紹介する案内板の設置などに継続的に取り組む。

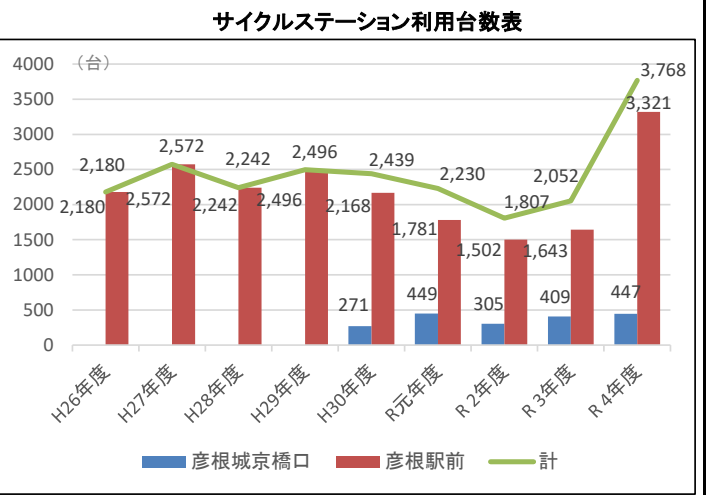
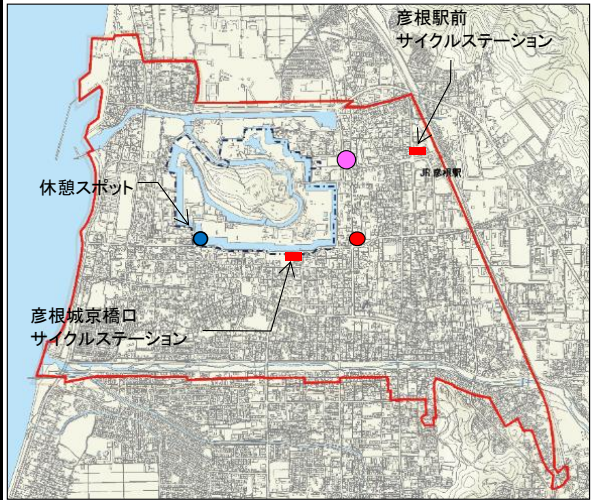
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

彦根駅前サイクルステーションでは、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことで、利用が大幅に増加し、令和4年4月から令和5年1月末までに2,828台、彦根城京橋口サイクルステーションでは404台の利用があり、過去最大の利用台数となった。
 旧城下町地区内で整備に取り組んでいる公共サインでは、多言語にも対応した案内サイン(1基)、誘導サイン(1基)を設置し、旧城下町の周遊環境を充実することができた。また、市道城町金亀線の中堀沿いに、彦根城周辺地区における回遊性と交流の場を創出するため、休憩スポットを整備し、彦根御城下惣絵図を掲載した説明板を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



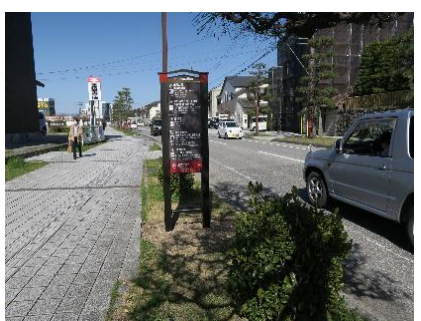
●案内サイン ●誘導サイン ●設置箇所

案内サイン



立花町 令和5年3月14日(火)撮影

誘導サイン



尾末町 令和5年3月14日(火)撮影

市道城町金亀線 休憩スポット



金亀町 令和5年2月26日(日)撮影

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
2-2 旧城下町地区周遊環境構築事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度(2017年度)～令和4年度(2022年度)

支援事業名 街路交通調査費補助(総合都市交通体系調査)、都市再生整備計画事業、市単独事業

計画に記載している内容 彦根ICから観光の主要な目的地である彦根城に向かう道路は、観光シーズンを中心に慢性的な渋滞が起きているため、旧城下町区域外に駐車場を設け、専用の周遊バスに乗り換えるパーク・アンド・バスライドの社会実験を通して、本格実施に向けて旧城下町地区周辺の渋滞の解消およびまち歩きしやすい環境の構築を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

パーク・アンド・バスライドの社会実験では、市街地の交通混雑緩和と観光客の周遊を目的とし、秋の10月22日から11月5日までの土・日・祝日の計6回、延べ942人が利用した。今年度は、10月20日、21日において「ご当地キャラ博」が3年ぶりに開催されたこともあり、利用者は昨年(2021年)の2倍を超えた。
また、彦根城周辺の地域課題解決のための交通対策の一つとして、グリーンスローモビリティによる旅客輸送を行う社会実験を10月28日から11月12日までの15日間実施し、延べ2,624人が利用した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

パーク・アンド・バスライド 社会実験ルート(秋)



パーク・アンド・バスライド社会実験



インター前駐車場:原町
令和4年10月22日(土)撮影

グリーンスローモビリティ 社会実験チラシ



グリーンスローモビリティ社会実験



古沢町
令和4年11月11日(金)撮影

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
2-3 無電柱化等道路修景事業 【市道佐和立花線】 【市道立花佐和線】 【市道河原16号線・芹町4号線】 【その他道路】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度(2011年度)～令和9年度(2027年度)		
支援事業名	防災・安全交付金(道路)、交通安全対策補助(通学路緊急対策)、都市再生整備計画事業、市単独事業		
計画に記載している内容	まちなみ景観に調和するよう、無電柱化ならびに歩道の修景整備を実施する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

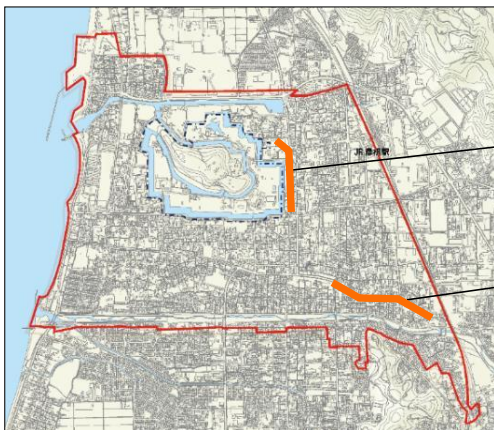
【市道佐和立花線】
都市計画道路立花船町線(総延長460m)では、全ての用地取得が完了した。また、残す区間の電線共同溝および歩道(延長25m)の整備完了に向けて施工に着手した。併せて、市道佐和立花線相互通行に必要となる主要地方道の交差点改築(延長159m)に向けて取り組んだ。

【市道河原16号線・芹町4号線】
重要伝統的建造物群保存地区内にある市道河原16号線・芹町4号線(総延長700m)では、無電柱化整備計画を進め、地上器の配置や照明灯などの整備について、地域住民や主要団体との協議を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	【市道河原16号線・芹町4号線】 無電柱化整備の計画的な実施に向け、今後、策定予定である地区内防災計画にあわせた複合整備についても検討する必要がある。なお、当該路線の整備優先度について、本市で掲げる道路整備との位置付けや事業費の縮減など、実施に向けた課題も多く、今後整理を行うこととする。

状況を示す写真や資料等

事業箇所位置図



市道佐和立花線
(都市計画道路立花船町線)

市道河原16号線
・芹町4号線

市道河原16号線・芹町4号線



河原二丁目
令和5年1月17日(火)撮影



電柱地中化後のイメージ



市道佐和立花線



立花町
令和5年2月26日(日)撮影

評価軸③-6	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和4年度
項目	現在の状況
2-4 歴史的地域環境保全再生事業 【善利組足軽組屋敷地区】 【河原町芹町地区】 【魚屋町地区】 【七曲がり地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度(2010年度)～令和9年度(2027年度)
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史的な風景が残る地区において、地域と協働して歴史を生かしたまちづくり活動の推進に継続して取り組む。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
<p>【善利組足軽組屋敷地区】 芹橋二丁目では、令和4年10月15日、16日に、彦根辻番所の会の主催により、歴史的風致形成建造物を含む「足軽組屋敷特別公開」が行われ、350人が見学された。また、NPO法人彦根景観フォーラムと地元自治会主催により「文化遺産を活かしたまちづくり研究会」が開催され、足軽組屋敷が残る芹橋二丁目らしいまち並みデザインガイドづくりが進められた。</p> <p>【河原町芹町地区】 河原町芹町地区では、重伝建地区の伝統的建造物で令和元年度に修理事業を行い、利活用されている「みんなの食堂」において、令和4年5月29日に「子ども第三の居場所」の開所式が行われ、近隣の小中学生を対象にした料理教室が行われるなど、放課後の居場所としての活用が始まった。</p> <p>【魚屋町地区】 魚屋町地区では、NPO法人ひこね文化デザインフォーラムが中心となり「私たちの生活を豊かに彩る「文化」や生活の場である「まち」の在り様」をテーマに、話題に参加者が語り合うサロンを毎月第2土曜日に開催された。また、「街なかの佇まいから音楽が流れると素敵」という思いから、まちやサロンコンサート「音散歩コンサート」を今年度4回開催された。</p>	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
【善利組足軽組屋敷地区】	
<p>足軽組屋敷特別公開 開催日: 令和4年10月15日(土)、16日(日)</p>  <p>令和4年10月16日(日)撮影</p>	<p>文化遺産を活かしたまちづくり研究会 開催日: 令和4年12月10日(土)、令和5年2月26日(日) 開催場所: 芹橋二丁目(辻番所) 参加者: 22人、23人</p>  <p>令和5年2月26日(日)撮影</p>
<p>【河原町芹町地区】</p> <p>みんなの食堂 子ども第三の居場所 開所式 開催日: 令和4年5月29日(日) 開催場所: 河原一丁目</p>  <p>令和4年5月29日(日)撮影</p>	<p>【魚屋町地区】</p> <p>まちやサロン・音散歩コンサート 第3回 リードオルガンで奏でる「祈り」 開催日: 令和4年12月18日(日) 開催場所: 城町一丁目</p>  <p>令和4年12月18日(日)撮影</p>

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
3-1 伝統工芸継承支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度(2015年度)～令和9年度(2027年度)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画に基づき、新規職人の人件費補助を行う。また、彦根仏壇の伝統工芸に携わる職人の後継者問題に対応するため、彦根仏壇事業協同組合が行う彦根仏壇の活性化に係る人材育成や情報発信、イベント開催などの事業に対して補助を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国の伝統的工芸品「彦根仏壇」の伝統的技術の維持向上や、後継者の育成に貢献してこられた1名を伝統的工芸品産業技術者として、令和5年1月16日に表彰式を行った。
 また、彦根仏壇事業協同組合が主催して行った後継者育成のための伝統技術伝承塾「ほんまもん工房」や、市内の小中学校での体験学習、その他、彦根仏壇の活性化に係る各種事業に対して補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

彦根市伝統的工芸品産業技術者表彰式

開催日: 令和5年1月16日(月)
 開催場所: 彦根市役所特別応接室



令和5年1月16日(月)撮影



令和5年1月16日(月)撮影

彦根仏壇技術伝承塾 ほんまもん工房

開催日: 令和4年11月12日(土)、26日(土)、12月3日(土)、10日(土)、17日(土)

ほんまもん工房 チラシ



金箔押し体験



正法寺町
 令和4年12月17日(土)撮影

評価軸③-8	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
項目	令和4年度
3-2 伝統芸能継承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和62年度(1987年度)～令和9年度(2027年度)
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史的建造物の能舞台において、伝統芸能である能・狂言を開催し市民が伝統芸能に触れる機会を創出する。また、小学生の高学年を対象に、能舞台を利用して、狂言の所作や実技を学習し、発表会まで実施する体験学習を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
彦根市立西中学校の生徒が彦根城博物館の見所において、11月28日に彦根藩にゆかりのある京都の茂山狂言会が歴史的風致形成建造物である「表御殿能舞台」で演じる「柿山伏」を鑑賞した。 同館では、小学生を対象に、7月31日にキッズサマースクール「オリジナルの巻物をつくろう」ならびに、10月2日にわくわく体験スクール「茶道を楽しもう」を開催し、伝統文化や歴史を学ぶ機会を提供した。 井伊直弼公の文化的功績を尊び、本市における茶の湯・一期一会の文化の継承、定着および普及の促進を図るため、令和5年3月に「井伊直弼公の功績を尊び茶の湯・一期一会の文化を広める条例」を制定した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>金亀町 令和4年11月28日(月)撮影</p> <p>伝統芸能 狂言の鑑賞 開催日：令和4年 11月28日(月) 開催場所：彦根城博物館 参加者：彦根市立西中学校全校生徒356名</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>金亀町 令和4年7月31日(日)撮影</p> <p>キッズサマースクール オリジナルの巻物をつくろう 開催日：令和4年 7月31日(日) 開催場所：彦根城博物館 参加者：30人</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>金亀町 令和4年10月2日(日)撮影</p> <p>わくわく体験スクール 茶道を楽しもう 開催日：令和4年 10月2日(日) 開催場所：彦根城博物館 参加者：30人</p> </div> </div>	

評価軸③-9	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和4年度
項目	現在の状況
3-3 伝統技術者育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度(2011年度)～令和9年度(2027年度)
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	玄宮楽々園などの庭園管理を行う技術者を育成し、文化財庭園を保存するため、庭園管理の専門家による庭園管理アドバイザー事業を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
玄宮楽々園では、委託業務による庭園内の植栽整備や常駐作業員による日常的な管理を実施し、適切な文化財庭園の管理を行った。特に、作業員による管理が可能である中・低木の剪定作業等を中心に実施することとしており、作業にあたり、専門家による指導を受け、庭園全体の維持管理についての技能習得を目指して、庭園管理アドバイザー事業を実施し、技術力の向上に繋げ、四季折々での庭園景観の維持に努めた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
名勝玄宮楽々園(玄宮園) 専門家による庭園管理指導状況	
	
金亀町 令和4年5月16日(月)撮影	金亀町 令和4年7月4日(月)撮影

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
3-4 歴史まちづくり活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度(2012年度)～令和9年度(2027年度)		
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)、市単独事業		
計画に記載している内容	小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムは、市内に増加しつつある空き町屋に対して、利活用の促進を図る活動を支援する。また、歴史的風致の維持向上のために取り組む各団体が、彦根の歴史・文化の次世代への継承・発展や、市内に残る文化財を活用した地域活性化を推進するために行う事業に対して支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムに対して、空き町屋の利活用の推進を更に進めるため、小江戸ひこね町屋活用促進事業補助金による活動支援を行い、町屋の利活用成果が3件あった。また、当該コンソーシアムでは、町屋情報バンクのパンフレットの改訂を行ったほか、令和5年1月24日に空き家の活用が進んでいる米原市との意見交換ならびに現地視察を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムの活動 米原市との意見交換会および現地視察 開催日: 令和5年1月24日(火) 参加人数: 18人			
			
米原市 令和5年1月24日(火)撮影		米原市 令和5年1月24日(火)撮影	
		小江戸ひこね町屋情報バンク パンフレット	

評価軸③-11	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和4年度
項目	現在の状況
3-5 伝統的行事開催事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度(2018年度)～令和9年度(2027年度)
支援事業名	市単独事業(彦根商店街連盟事業・観光開催事業)
計画に記載している内容	彦根を代表する行事のひとつである城まつりパレードの開催を継続して行う。昭和21年に復活した彦根あびす講の開催を行う彦根商店街連盟に対して、開催に伴う活動の支援を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
毎年、秋の恒例行事として開催してきた「ひこねの城まつりパレード」が3年振りに開催され、子ども大行列や彦根らしさを組み入れた井伊の赤鬼家臣団列など、赤備えの甲冑に身を包んだ人々が旧城下町一帯をパレードした。このパレードには、80,000人の観光客が訪れた。 11月19日～20日の2日間にかけて開催された「彦根大あびす講」では、地元小学校のマーチングバンドの演奏やスタンパラーが開催され、歴史的な開催のにぎわいに花を添えた。 また、彦根商店街連盟に対しては、伝統的行事の一つであるあびす講開催のため活動支援を行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
【ひこねの城まつりパレード】 開催日: 令和4年11月3日(木) 開催場所: 金亀町ほか 参加者: 80,000人	
 金亀町 令和4年11月3日(木)撮影	 本町二丁目 令和4年11月3日(木)撮影
【彦根大あびす講】 開催日: 令和4年11月19日(土)、20日(日) 開催場所: 銀座町ほか	
チラシ 	銀座町 令和4年11月19日(土)撮影
	蛭子神社  令和4年11月19日(土)撮影
	 橋向町 令和5年3月8日(水)撮影

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
4-1	博物館展示・文化財等郷土資料公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和62年度(1987年度)～令和9年度(2027年度)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 彦根城博物館では、常設展のほか、企画展や特別展を実施し、彦根を中心とした歴史や文化を広く紹介する。また、開国記念館では、本市の埋蔵文化財調査で得られた成果を中心に、彦根の歴史に関する展示を行うなどの周知啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

彦根城博物館では、常設展「「ほんもの」との出会い」のほか、企画展「彦根藩の足軽 一歩兵たちの近世」、「上田道三 彦根の歴史風景を描く」、「彦根藩井伊家の刀剣」などを開催し、全国を広く視野に収めながら彦根の歴史文化に関する作品を展示した。併せて、展示関連の講演会・スライドトーク等を開催し、延べ340人の参加があった。開国記念館では、昨年度から継続して市内の埋蔵文化財調査の成果を周知啓発する展示とともに彦根城の世界遺産登録の啓発(「彦根城を世界遺産に」、「城下町400年の歴史-世界遺産を目指す彦根城の城下町-」)などを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【彦根城博物館】

企画展 彦根藩の足軽
一歩兵たちの近世—
開催日: 令和4年7月23日(土)
～8月31日(水)



令和4年7月27日(水)撮影

企画展 上田道三
彦根の歴史風景を描く—
開催日: 令和4年10月8日(土)
～11月7日(月)



令和4年11月6日(日)撮影

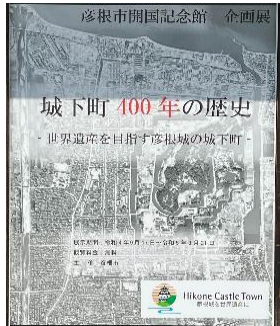
企画展 彦根藩井伊家の刀剣
開催日: 令和4年11月10日(木)
～12月6日(火)



令和4年12月6日(火)撮影

【開国記念館】

企画展 城下町400年の歴史 世界遺産を目指す彦根城の城下町—
開催日: 令和4年9月17日(土)～令和5年3月31日(金)



令和4年9月15日(木)撮影

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
	項目	現在の状況
4-2 歴史的風致情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度(2008年度)～令和9年度(2027年度)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史・文化を多くの人に知ってもらうため、専門職員による文化財現地説明会や出前講座などを実施し普及啓発に努める。旧城下町区域内のまち歩きを、スマートフォンやタブレット端末を用いて、楽しみながら彦根のほんものの歴史を学ぶことができる多言語に対応した史跡散策アプリを活用し、まち歩きしやすい環境の充実を行う。また、ボランティアガイドの育成支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史ならびに文化財の普及啓発では、指定文化財等の特別公開を3箇所ですべて5回開催し、延べ2,512人の参加があった。また、学芸員が地域に出向く出前講座を全27回開催し、延べ841人の参加があった。さらに、彦根ボランティアガイド協会に補助金による運営に関しての支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

名勝旧彦根藩松原下屋敷(お浜御殿)庭園の特別公開
 開催日: 春季 令和4年4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝) 参加者: 240人
 秋季 令和4年11月23日(水・祝)～11月29日(火) 参加者: 340人



松原町
令和4年5月3日(火)撮影



松原町
令和4年11月28日(月)撮影

旧井伊神社社殿の特別公開
 開催日: 春季 令和4年4月15日(金)、16日(土) 参加者: 145人
 秋季 令和4年11月3日(木・祝)、4日(金) 参加者: 89人



古沢町
令和4年4月15日(金)撮影

楽々園建造物「御書院」の特別公開
 開催日: 令和4年7月2日(土)～10日(日)
 参加者: 1,698人



金亀町
令和4年7月10日(日)撮影

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
	項目	現在の状況
4-1 文化財の修理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 平成17年度に「彦根市指定文化財保存修理方針」を定め、文化財所有者と協議の上で修理計画の指導と助言を行い、修理のための財政支援を実施している。修理に際しては、文化財保護法や彦根市文化財保護条例等に基づく修理の届け出の手続きを行うとともに、文化財保護審議会に諮って審議会委員等の指導と助言を得ながら修理を進めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財および登録有形文化財建造物では、適正な保存に努めるため、老朽化等している箇所の修理等に対して修理方針や修理手法の指導・助言を行った。
 今年度は、市指定文化財「旧彦根藩足軽組屋敷(善利組・中居家住宅)」、(善利組・太田家住宅)、(善利組・吉居家住宅)、(善利組・服部家住宅)」の修理事業、登録有形文化財旧佐藤家住宅の耐震改修を実施し、文化財建造物としての適切な修理に努めた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

市指定文化財 旧彦根藩足軽組屋敷(善利組・中居家住宅)

修理前



芹橋二丁目
令和4年3月10日(木)撮影

修理完了



芹橋二丁目
令和5年3月8日(水)撮影

市指定文化財 旧彦根藩足軽組屋敷(善利組・服部家住宅)

修理前




芹橋二丁目
令和4年9月27日(火)撮影

修理完了



芹橋二丁目
令和5年3月31日(金)撮影

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項	
	評価対象年度
項目	令和4年度
4-2 文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	「彦根市地域防災計画」において「文化財対策」を定め、文化財に対する防災業務を実施している。この中で、特別史跡彦根城跡については、防火のための学習や訓練、消火機器などの定期点検を実施している。さらに、市内の指定文化財所有者へ防火設備等の設置について周知するとともに文化財の保存状況を確認するため文化財パトロールを実施している。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
特別史跡彦根城跡では、毎年1月の文化財防火デーに併せて、彦根市消防本部主催による火災防御訓練を実施し、市消防署、消防団、彦根城運営管理センター、彦根城博物館が参加して、消火活動、重要資料の搬出、避難誘導など迅速な消火体制構築の確認を行うこととしており、今年度は彦根城博物館にて1月22日に火災防御訓練を実施した。また、例年行っている文化財パトロールは、消防署が実施する消防点検と併せて文化財課職員も立合う形で指定文化財の査察を計40か所で実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
彦根城博物館での火災防御訓練 実施日: 令和5年1月22日(日)	
	
金亀町 令和5年1月22日(日)撮影	金亀町 令和5年1月22日(日)撮影
消防点検と文化財査察 実施期間: 令和4年7、8月、令和5年1月	
荒神山神社社務所	旧鈴木屋敷長屋門
	
清崎町 令和4年8月8日(月)撮影	立花町 令和5年1月17日(火)撮影

評価軸⑤-1		
効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
ずらり並んだ3000体に「入魂」開運願って手を合わせ 彦根・龍潭寺のだるままつり	令和4年4月2日	ABCテレビ
足軽屋敷群の紹介動画制作目指し、CFで資金援助募る	令和4年4月18日	朝日新聞
国宝5城デザイン「靴ECOバッグ」を販売 彦根城	令和4年5月24日	中日新聞
彦根城世界遺産登録の機運醸成へ彦根青年会議所と彦根商工会議所青年部が関連事業を進めるために連携を強化	令和4年6月13日	滋賀彦根新聞
暫定リストから30年「今回こそ彦根城を世界遺産に」 推薦書素案提出	令和4年6月29日	京都新聞
彦根城、どこから見るのが好き？世界遺産登録へ、市がSNSで投票企画	令和4年7月6日	京都新聞
彦根藩の足軽 編成から解体まで 大坂の陣図に登場、博物館で企画展	令和4年7月21日	滋賀彦根新聞
彦根城博物館企画展 彦根藩の足軽一歩兵たちの近世一	令和4年8月9日	滋賀彦根新聞
武将・石田三成の都市設計示す発見…彦根・佐和山城跡で大規模外堀の遺構	令和4年8月18日	読売新聞
彦根市の国宝彦根城で夜間の特別公開が始まる	令和4年9月11日	NHK
台風14号影響 国の重文・彦根城の「馬屋」に被害	令和4年9月20日	BBCびわ湖放送
迫力の銃声、白煙に拍手 滋賀・彦根で「彦根鉄砲隊」公開演武	令和4年10月1日	京都新聞
旧彦根藩足軽組屋敷群の魅力体感！ パーチャル資料館	令和4年10月8日	朝日新聞
彦根城博物館企画展・上田道三彦根の歴史風景を描く	令和4年11月2日	滋賀彦根新聞
彦根城で迎春準備の「すす払い」 職員が命綱つけ…高さ21メートルの天守閣で作業	令和4年12月9日	関西テレビ
世界遺産登録から広がる地域の未来 彦根城世界遺産登録推進シンポジウム	令和5年1月5日	滋賀報知新聞
彦根城の歴史的な価値を世界に発信 英語版ウェブサイトを開設	令和5年1月11日	NHK
守り継いだ井伊家古文書5832件 「埋木舎」当主が彦根市に寄贈	令和5年2月1日	中日新聞
彦根城登録へ意見交換 世界遺産専門家招く 県と市	令和5年3月18日	京都新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年4月～令和4年3月末の期間で、新聞・テレビに報道された件数		
彦根城関係：110件 伝統文化等：5件 彦根城博物館関係：20件 彦根の歴史関係：8件		
市民団体関係：4件 文化財関係：10件 世界遺産関係：28件 啓発事業関係：1件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>令和4年7月21日(木) 滋賀彦根新聞 「彦根藩の足軽 編成から解体まで 大坂の陣図に登場、博物館で企画展」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>令和5年1月5日(木) 滋賀報知新聞 「世界遺産登録から広がる地域の未来 彦根城世界遺産登録推進シンポジウム」</p> </div> </div>		

評価軸⑥-1

その他(効果等)

	評価対象年度	令和4年度
項目		

1 彦根市の観光客入込数について

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着いてきたが、観光客数のうち宿泊客数は188千人と令和2年から減少が続いている。しかし、外国人観光客は9千人を超え、令和3年の人数から増加した。また、彦根城の入山者数は、例年並とはいかないものの、管理受託業者が主体となり国宝彦根城夜間特別公開などを実施したことから、令和3年に比べると大幅に増加し、観光客数に回復傾向が見られた。

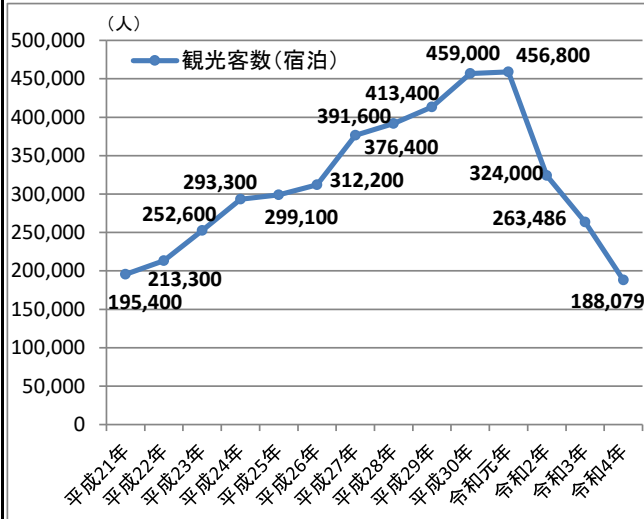
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

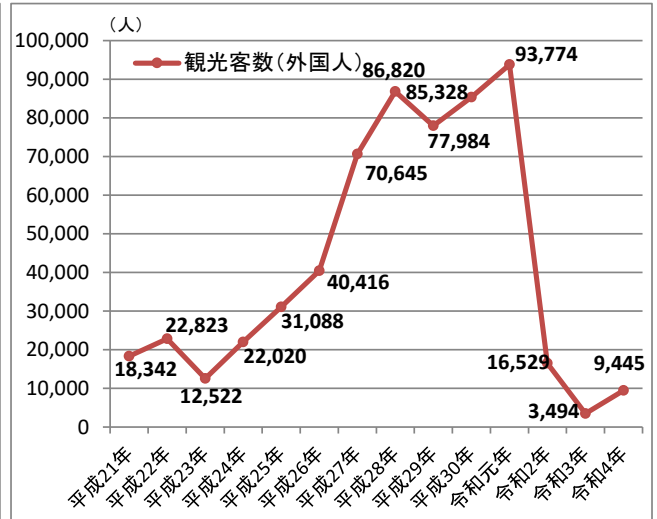
■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

観光客数【宿泊】の推移

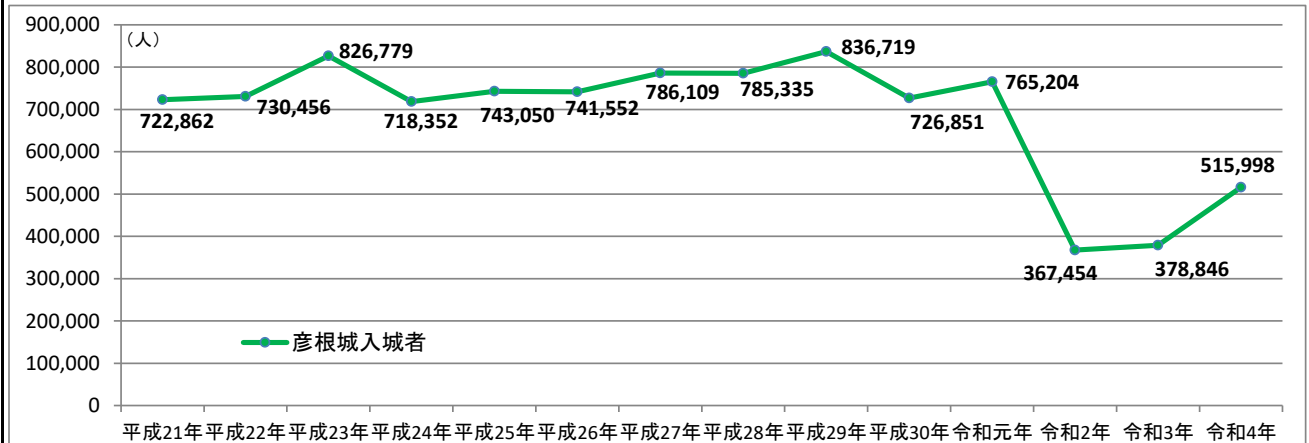


観光客数【外国人】の推移



彦根城の入山者数の推移

※注)彦根城の入山者数の推移は、観光客数の推移統計に合わせて、1月から12月の年で表しています。



評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 彦根市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和5年4月27日(木)	
(コメントの概要)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 魚屋町長屋について、どれぐらい老朽化が進んでいるのか。また、このままでは活用が難しいと思われるが、保存修理が終わってから活用するのか、修理前でも活用できるところから活用をするのか。 2 文化財指定された建造物の修理を行われているが、昔の建物であるため耐震構造になっていないと思われるが、耐震に関してはどのような考え方で修理等をされているのか。 3 市内の交通渋滞を緩和する施策の一つとして、パーク・アンド・バスライドの社会実験を行われているが、今後も継続して検討される施策の一つとなるのか。 4 彦根城内の桜が年々弱ってきています。この桜について、植栽ならびに養生的なことを行うことができる樹木医や技術的な方の育成をしていくのか。 5 歴史的風致をめぐる、天候などの自然条件、市民の高齢化などの社会的条件、経年劣化などの物理的条件で複合的に問題が起きているため、環境の変化を計算したダイナミックな対策の在り方についても今後検討していくことが重要ではないか。 6 サイクルステーションの利用台数表で、令和4年度に急激に利用数が上がっているが、どのようなところでこのような現象が起きているのか、何か分析されているのか。 	
(今後の対応方針)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 魚屋町長屋は老朽化が進んでおり、危険な部分もあることから随時修繕を行っている状態です。このようなことから、活用に関しては、解体修理完了後に行うこととして考えています。 2 外観などの建造物の修理事業に際し助言として、構造体の補強を先に行うようお願いしています。また、伝統的建造物群保存地区の修理・修景に関し、できる限り耐震診断を行い、修理事業で耐震補強等も含めながら修理いただいています。このように、その他市内の文化財建造物に関して、老朽化が進んでいる建造物もあることから、彦根市文化財保存事業補助金交付要綱に規定しています耐震診断および耐震補強の補助を活用していただき、耐震診断や補強を行っていただけるよう周知等を図ります。 3 パーク・アンド・バスライド社会実験は、平成29年から令和4年度まで、主に春と秋に7回実施しました。この社会実験は、令和4年度で終了しましたが、彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会から、この施策は有効であるという提言をいただいています。今後、本格実施ができるよう検討を進めていきます。 4 彦根城の桜に関しては、年2回の施肥作業を毎年実施しています。桜の樹勢が少しでも衰えないよう、今後も施肥作業を継続して実施します。なお、彦根城の桜に対する樹木医や技術的な方の育成は、当該計画の事業に位置づけていませんが、課題であると認識していますので検討をしていきます。 5 様々な条件により問題が発生したときに、地域から行政に声を上げられる。逆に、行政からも問題を解決するためのメニューの周知・啓発を行うなど、ソフトとして密接に聞き届けられるように気をつけながら今後の取り組みを進めます。 6 詳細な分析まではしていませんが、インバウンド等も戻ってきて、さらに国内の旅行者も増えてきましたことから、2次交通という意味合いで自転車を使われる方、それから料金改定等も行ないましたので、非常に伸びたものと想定しています。また、もう一つの要因は、旅行支援もあり伸びたものと考えています。 	